



『目の検査のススメ』

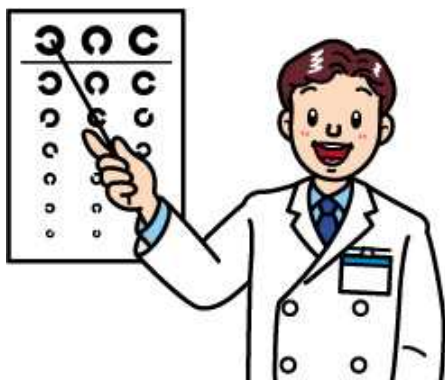
俗に五感と言われる、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚は人間が生きて行くうえでいずれも大切なものですが、その中でも失われると一番不自由なのは視覚だと言われています。

しかし、視覚は30歳のあたりをピークに、あとは年齢を重ねていくにつれて衰えていきます。具体的には中年期に出現する老眼（近くのものにピントが合いづらくなる）や、老年期に出現する白内障（目の中の水晶体と言われるレンズが濁る）などです。

特に白内障は、加齢に伴うものですので、年をとれば皆さんがなってしまう。白内障と言うと“視力が落ちる”というイメージがあるかもしれませんが、“眩しい”という症状も白内障ではよく見られます。

それ以外でも目の不調がある場合には、まずは眼科にて一度診察を受けてみてはいかがでしょうか？

眼科で行う検査は、痛みを伴うものはありません。（代わりにちょっとだけ眩しいですが・・・）目の不調が解消されると毎日の生活がより楽しいものになるかもしれませんよ。



鹿児島厚生連病院
眼科部医長
水島 崇